

令和4年度東播磨医療・介護連携に関するアンケート調査

東播磨圏域では、医療と介護の連携上の課題について「医療・介護連携推進会議」において協議し、連携を促進するため「東播磨医療・介護連携システム・フロー図・取扱説明書」（以下、連携システム）を平成28年8月に作成し運用しています。

このたび、運用開始から5年以上経過したことを受け、連携システムの運用状況を把握するため、居宅介護支援事業所等でケアプランを作成する職員に対する調査を実施し、よりよい取組みへとつなげていきたいと考えております。つきましては、ご意見をお聞かせ下さいますようお願いいたします。

1. あなたの勤務する事業所名をご記入ください。（本調査結果に基づき、問合せやヒアリングを行うことがあります。事業所名が公表されることはありません。）

2. あなたの勤務する事業所の連絡先をご記載ください。（本調査結果に基づき、問合せやヒアリングを行うことがあります。）

3. 勤務先の所在市町名についてお答えください。

- 明石市
- 加古川市
- 高砂市
- 稲美町
- 播磨町

4. 事業所の種類についてお答えください。

- 居宅介護支援事業所
- 小規模多機能型居宅介護事業所
- 看護小規模多機能型居宅介護事業所
- 地域包括支援センター
- その他

5. あなたの主たる職種をお答えください。

- 福祉系介護支援専門員
- 医療系介護支援専門員
- その他

6. あなたの年齢をお答えください。

- 20歳代
- 30歳代
- 40歳代
- 50歳代
- 60歳代
- 70歳以上

7. 経験年数をお答えください。

- 5年未満
- 5～10年未満
- 10～20年未満
- 20年以上

8. 令和4年10月中に給付の有無に関わらず担当した利用者総数についてお答えください。

9. 令和4年10月中の入院時の連携状況についてお尋ねします。
担当されていた利用者の方が令和4年10月中に病院へ入院した件数をお答えください。

10. 令和4年10月中に入院した方のうち、入院時、病院より連絡があった件数をお答えください。

11. 令和4年10月中に入院した方のうち、「入院時情報提供書」を病院へ送付した件数をお答えください。

12. 前質問にて「入院時情報提供書」を病院へ送付した方のうち、3日以内に病院へ送付した件数をお答えください。

13. 令和4年10月中の退院時・退院後の連携状況についてお尋ねします。
担当されていた利用者の方が令和4年10月中に病院より退院した件数をお答えください。

14. 令和4年10月に退院した方のうち、病院より退院調整の連絡を受けた件数をお答えください。

15. 令和4年10月に退院した方のうち、病院より「退院時情報提供書」を受理した件数をお答えください。

16. 令和4年10月に退院した方のうち、退院後必要に応じて病院へ情報提供した件数をお答えください。

17. かかりつけ医との連携状況についてお尋ねします。
令和4年10月中にかかりつけ医より情報を受理した件数をお答えください。

18. 前質問のかかりつけ医より情報を受理した件数のうち、情報提供にかかる利用者負担が生じた件数をお答えください。

19. 令和4年10月中に、かかりつけ医へ情報提供や意見を依頼したが、回答が得られなかった件数をお答えください。

20. 令和4年10月中にかかりつけ医へ情報提供した件数をお答えください。

21. 訪問看護師との連携状況をお尋ねします。
令和4年10月中に訪問看護師より情報を受理した件数をお答えください。

22. 令和4年10月中に訪問看護師へ情報提供した件数をお答えください。

23. 薬剤師(訪問薬剤師・調剤薬局薬剤師・病院薬剤師等)との連携についてお尋ねします。
令和4年10月中に、薬剤師より情報を受理した件数をお答えください。

24. 令和4年10月中に、薬剤師へ情報提供した件数をお答えください。

25. 看取りについてお尋ねします。
今までに在宅での看取りに関わった経験はありますか。

- あり
 なし

26. 今までに看取りに関わった件数はどれぐらいですか。

- 5件未満
 5～10件未満
 10～20件未満
 20件以上

27. 看取りで関わった方は、どのような状態の方でしたか。（複数回答）

- がん等の身体機能が急変する疾患による看取り
- 慢性疾患（認知症を含む）、老化によるゆっくりと身体機能が低下する看取り
- 心・肺疾患等、入退院を繰り返し、徐々に身体機能が低下する看取り

28. 利用者が望む場所で最後を迎えるための支援として、実践していることは何ですか。（複数回答）

- 利用者の意思を確認する
- 家族の意向が一致しているか確認する
- 家族が看取りの身体的変化について理解できるようにしている
- 24時間対応ができる体制をつくる
- 家族以外の支援者（ケアマネジャー等）に相談できる環境をつくる
- 利用者の意思を家族・支援者全員で共有している
- 看取りに関する研修会等に参加して対応力の向上を図る
- その他

29. 医療・介護連携についてお尋ねします。
過去5年間で、多職種との連携は図りやすくなりましたか。

- そう思う
- ややそう思う
- あまりそう思わない
- そう思わない

30. 前質問のように回答した理由についてご記載ください。

31. COVID-19の流行を受けて、医療・介護連携体制に影響はありましたか。

- あり
- なし

32. 「あり」と回答された方にお尋ねします。どのような影響がありましたか。

33. 医療・介護連携を進める上で、工夫していることについてお答えください。（複数回答）

- 将来のことを利用者・家族と話し合い、利用者の医療・ケアに対する意思を確認している
- 日常の療養生活支援において、共通ノートを活用している
- 「もしも」の備えとして、利用者とキーパーソンやケアマネジャー情報をまとめている
- 入院時は早期に病院へ電話連絡し、追って書類で在宅生活の情報を提供している
- 利用者へ介護保険証にケアマネの名刺を挟むなど担当者を把握しておくよう依頼している
- 全国版救急受診アプリQ助について情報提供している
- その他

34. 医療・介護連携において課題と感じていることについてお答えください。（複数回答）

- 人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスについて
- インフォーマル資源の活用に関すること
- 権利擁護等の支援に関すること
- 病院機能（急性期、回復期、慢性期など）に関すること
- 意思決定支援に関すること
- 介護保険サービスに関すること
- 連携のタイミング
- 情報共有する内容（得たい情報と提供される情報の不一致等）
- その他

35. 医療・介護連携においては、医療と介護が主に共通する4つの場面（「日常の療養」「急変時」「入退院支援」「看取り」）を意識して取り組む必要があるとされていますが、医療介護関係者の支援では限界（困難さ）を感じていることは、どのようなことですか。また、それを解決するためには、どのような取り組みが必要かご記載ください。

36. 「東播磨圏域連携システム・フロー図・取扱説明書」（平成31年3月改訂）を活用していますか。

URL : <https://web.pref.hyogo.lg.jp/ehk06/inoutokaigo.html>

- 活用している
- 活用していない
- システムを知らない

37. 活用方法についてお尋ねします。（複数回答）

- 「連携システム」について、入退院の各場面ごとに確認している
- 自身の入退院支援時の行動プロセスや視点の確認、振り返りなど
- 支援に抜けがないか確認している
- その他

38. 推奨様式（p10-18）について、使用されていますか。

- 使用している
- 使用していない

39. 使用して感じたことについてお尋ねします。（複数回答）

- 使用することで利用者の情報が整理しやすくなった
- 不足している情報等に気付けるようになった
- 入院時、必要な情報を十分に伝えられる
- 退院時、必要な情報を十分に収集できる
- その他

40. 使用されなかった理由についてお尋ねします。

- 独自の様式を使用しているため
- その他

41. 活用していない理由についてご記入ください。

42. 「東播磨圏域連携システム・フロー図・取扱説明書」に対するご感想・ご意見についてご記載ください。

